

今年もいわきへら研の月例会が始まりました。1月は例年通り友部湯崎湖です。毎年この時期は、冷え込みで激渋の例会。例年なら迷わず段底となるのだけど、暖冬の今年は微妙な感じ。木田さんが、4号栈橋の奥にいくとのことなので、数年前の良い思いを期待し、奥から7番目に陣取る。すると、5号栈橋に向かってきた小野君も移動してきて、端から4番目?に入る。18尺の宙で土手際を狙うようだ。木田さんは、奥から二番目で長竿のバランスの底。私は、13尺で段底を開始。この場所は13尺だと50cm位残しなので、ちょっと釣りづらい感じ。良い年は1投目から当たるのだが、沈黙の時間が続く、木田さんや小野君が絞った後、ようやくこちらも当たり。ちょっと当たりが大きい?と思い、上げてみると、上針に食ってきた。今回は不思議なことに同じことが3回もあった。粒戦が刺さっているのか?それとも針のキラキラに思わず食ってきたのだろうか?状況は時間が経っても好転しない。昨年の優勝ポイントの5号栈橋奥に入った面々も全くダメで散歩や他の人の見学中。皆さん1枚前後で、BB賞を狙っての駆け引きのようだ。周囲では、土手際を狙っている小野君がポツポツ絞っておりダントツな感じ。長竿で同じ釣りをするか?それとも、段底で誘いをかけると落ち込みで時々触るので、チョウチンもありかもしれない。ここで、4号栈橋の南側の様子を見に行くことに。何時もの場所に会長達が入っていたので状況を聞くと、入り口付近の松ちゃんだけ釣れていて、他は全くダメとのこと。それでも、見ている間に会長と永山さんがチョウチンで絞る。戻って、しばし段底をやるが、やはり当たりが出ないので、11尺のチョウチンに変更。しばらくするとようやく1枚ヒット。その後も魚が回ってきた時だけ釣れる感じで、ポツリポツリ。昼過ぎには10枚となった。しかし、時間経過とともに回ってくる間隔が空いてしまい。流れが強くなってからは全く釣れなくなってしまった。14時に15枚となったので、一応フラシを持ってきたものの、最後1時間はノー当たりで終了となってしまった。型も小さく、15枚で6.3kg。で終了。

そして、優勝は4号栈橋中央で10尺チョウチンで釣ったゲスト参加の佐々木さん。2位もゲストの中山さん。かろうじて小野君が3位に入ったものの、上位はゲスト参加の方々に独占されてしまった。人のことは言えないが、情けない・・・次回は皆さん。がんばりましょう!



### 本日のエサ

バラケ：バラケマツハ 2  
 セット専用 1  
 凌麩 1  
 粒戦 1  
 水 1.7  
 食わせ：力玉、魚信